

プロテックエンジ

崩落雪防護網工法を拡販

「スロープガードネットSタイプ」

【聖籠】プロテック

エンジニアリング（本
 社〓新潟県北蒲原郡聖
 籠町、野村利充社長）

は、急勾配斜面で発生
 する崩落雪の対策工法
 として、変形抑制型崩
 落雪防護網工法「スロ
 ープガードネットSタ
 イプ」の拡販を進めて
 いる。群馬、秋田での
 実績をベースに他地区
 での販路拡大を図るも
 ので、新潟地区でも11
 月下旬に開催された
 「Made in 新
 潟新技術（土木・建築）
 展示・発表会」に出展。

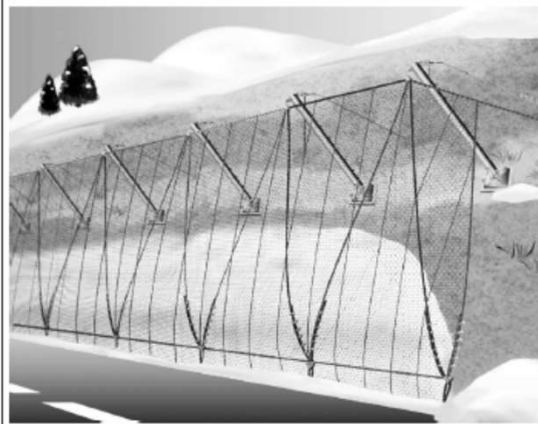
優れた景観性や施工
 性、経済性を訴えた。

「スロープガードネ
 ットSタイプ」は、急
 斜面などで発生する崩
 落雪対策として開発さ
 れた崩落雪防護網工
 法。支柱と変形量の少
 ない特殊な金網、変形
 抑制用のワイヤロープ
 で構成されたボケット
 部に斜面からこぼれ落
 ちる雪を堆積させるこ
 とで、保全対象物を守
 る。

特長としては、第一
 に設置時の斜面の掘削
 が少ないため、環境へ

の負荷低減と従来工法
 よりも30〜40%安価な
 施工が可能となる。第
 二に金網を主部材とす
 ることで透過性に優
 れ、景観に馴染んで圧
 迫感がない。第三に金
 網の張り出し量が少な
 く、道路際での設置が
 可能な点だ。

同工法は2013年
 に開発。従来工法の一
 つであるコンクリート
 構造物での対策は、斜
 面を大きく掘削する必
 要があるため、施工に
 要するスペースや費
 用、時間の軽減が課題
 であった。また、設置
 時に圧迫感が無く、景
 観に優れた製品が求め
 られると判断し、開発
 に至った。



スロープガードネットSタイプのイメージ図

同社の雪崩予防柵な
 どの雪害対策製品は、
 全国1000個所以上
 に設置されている。新
 潟や東北、北海道など
 全国の積雪地域をター
 ゲットに、年間1億円
 の同工法の売り上げを
 目指す。